

昭和十四年十月十四日

木林川部隊特種慰心安業務ニ関スル規定

木林川部隊

第一本規之ハ森川部隊警備地域内持種慰業務ニ関シ規定ス  
 第二持種慰業所開設ノ趣旨ハ將兵利代ノ氣風ヲ  
 緩和調節シ以テ軍紀振作ノ助ヲラシムルニ在リ  
 第三從和調節シ以テ軍紀振作ノ助ヲラシムルニ在リ  
 從テ之ガ將大勵ヌハ宣傳ニ墮スルノ行爲ハ嚴ニ取締ラ要  
 第三警備地域内ノ慰安業務ヲ安身施スル爲メ委員ヲ任  
 命ス

其差支及任務分担附表第一ノ如シ

第四警備隊長ハ慰安業務ヲ監督指導スルモノトス  
 第五慰安所及食堂附近ノ警戒整頓ニ軍紀風紀ノ取締ハ  
 革倉鎮及葛店警備隊長ト担任トス  
 第六慰安所ハ葛店及革倉鎮ニモテ設ク  
 第七持種慰安所ニ要スル經費ハ一切經營者ノ負担トス  
 而シテ經營者ハ左ノ諸項ヲ確實ニ安身施スベシ

設置ノ主旨ニ及シテハ諸規定ノ履行不確ナルモノハ

営業ヲ停止シシテハ退去ヲ命ズ

1 指定セラレタル階級以外ノ者ノ令入ヲ嚴守スベシ

2 営業時間ヲ嚴守スベシ

3 料金及所定時間ヲ明瞭ナル所ニ標示スベシ

4 入所券「ワック」ハ聯隊ニテ發行スル尉心安許可證ト

料金ト引換ニ交附スベシ

5 巡察者ニ對シテハ利用者概況ヲ報告スベシ

6 毎週土曜日ハニ・ヨリノ開業トシ同日ハ檢査ヲ受クシ

又毎聯隊第三土曜日ハ公休日トシ第一土曜日ニハ健康

診斷ヲ受クベシ

7 常ニ尉心安所内ヲ清潔ニシ飲食物及酒肴ノ販

賣ヲ禁ス

よ 慰安婦ハ身体ヲ清潔ニシテ常ニ室内ヲ清掃シシメ且  
「カック」ヲ交附シ置クベシ又洗滌設備ヲ整正ヘ之ヲ励行  
ヲ監督スベシ

7 検査室ヲ設備シ不合格者ハ之ヲ隔離收容シ一般病者ハ  
自室ニ於テ保護養マシムベシ但シ片扉ハ其旨標示スベシ

10 経営者ハ毎朝ノ實上表ヲ製作シ毎週月曜日發言備  
隊長ヲ經テ聯隊本部ニ報告スベシ

11 慰安婦ノ外多ニ関シテハ聯隊長ノ許下ヲ受クベシ

第八 慰安所ヲ利用セントスル下士官以下ハ左ノ各條ヲ嚴守スベシ

1. 聯隊ニテ發行スル慰安許下證ヲ携行シ入所券購入ニ

際ニ慰安所経営者ニ之ヲ付スベシ本券ハ一回限リトス

2 飲酒略奪セルモノハ入所ヲ禁ホズ

3 飲食物ヲ持入テ許サズ

4 慰安所内ニ於テ喧嘩ナルベカラズ

々 慰安婦ニ對シ租界内ナル行商ヲナスベカラス

6 利用済後ハハズ洗滌スベシ

7 利用時間ヲ嚴守シ他人ニ迷惑ヲ及ボスベカラス

8 慰安所附近ノ支那街ニ立入ルベカラス

第九 慰安所ハ左ノ時間及区分ニ依リ之ヲ利用スベシ

第一 第一葛店警備隊 新店警備隊

第二 第三第四華容鎮警備隊

但シ第二開設時期ハ別ニ示ス

利用時間

兵 一〇〇〇 — 一八〇〇

下士官 一九〇〇 — 二一〇〇

但シ土曜日ハ一ニヨリ開業ス

第十 利用料金ハ左ノ区分ニ依ル

將校 一時間 三〇〇

下士官 三十分 一・二。

兵 三十分 一・〇・〇。

但シ「サック」ハ經營者ノ支辨トス

第十一營業ヲ停止シタルトキハセテ入口ニ標示シ軍人軍屬

ノ立入ヲ嚴禁ス

第十二慰安所設置所別紙附圖第一第二ニ如シ

第十三各隊ノ利用日配當ハ別ニ示ス

第十四各隊ノ食堂ノ利用日ハ慰安所ノ利用日ニ同シ

第十五各隊ノ食堂ノ經營者ハ第七及其ノ第二第三

項ヲ確 妥員ニ當行スベシ

第十六食堂ハ營業時間販賣品ヲ左ノ如ク定ム

毎日 一・〇・〇 — 二一・〇・〇

但シ第一第三土曜日ハ休業トス

菓子及一般飲食食物酒等

附表第一

本村川部隊 看護中心 女業務委員

任 務

差遣  
部隊

官名

慰安二團之業務全般統制

駐本

村上 大尉

第一第二慰安所及食堂等之経営指導

中島 少尉  
内田 中尉  
原 准尉

第三第四慰安所及食堂之経営指導

古賀 中尉  
福田 中尉

慰安婦之検査及衛生施設之指導

單岐西各

→ 食堂  
→ 三華容腹

附圖第一

葛店慰安所及食堂

N  
↑

X

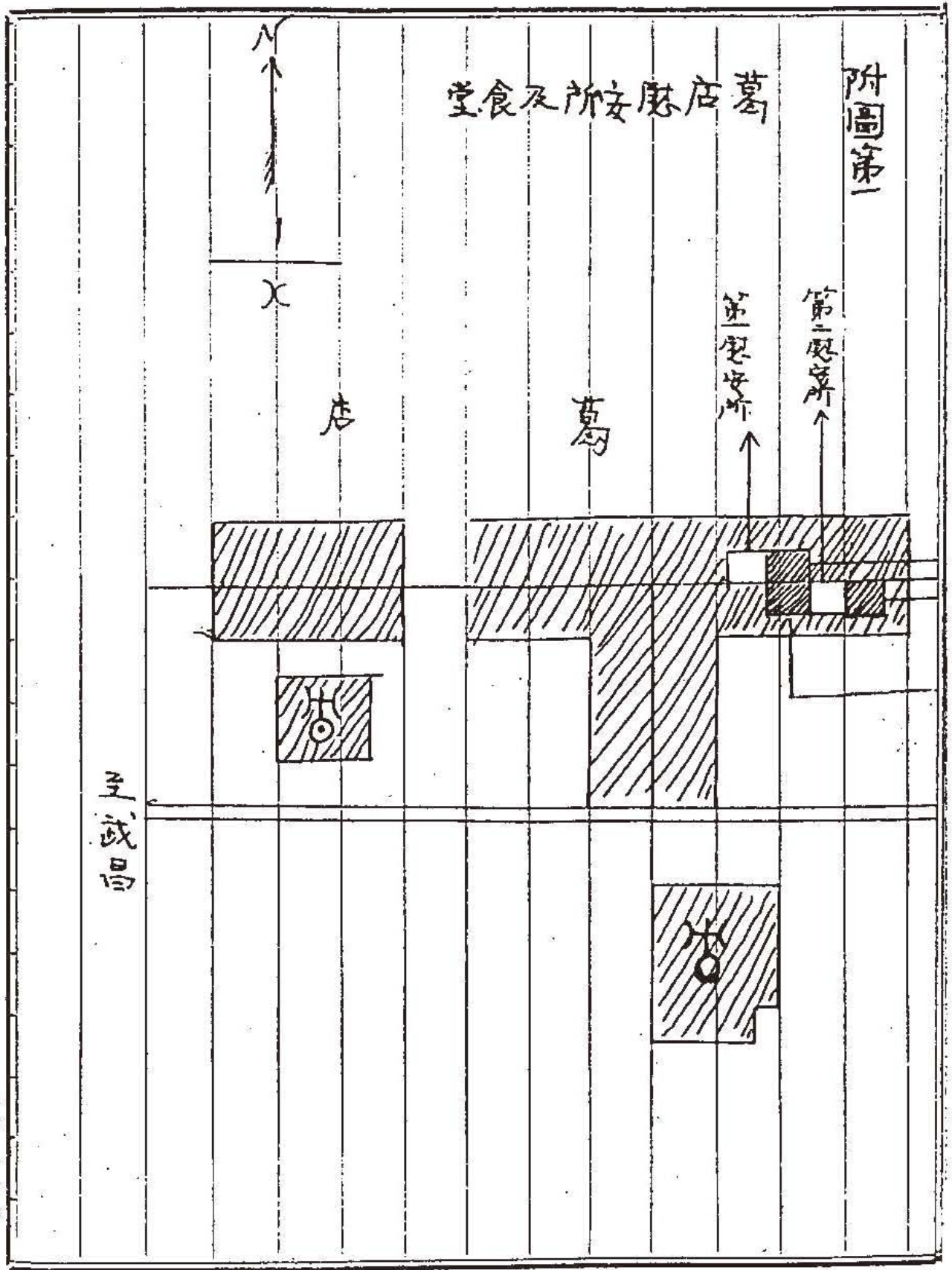
店

葛

葛店慰安所 ↑

第二慰安所 ↑

至武昌





附圖第一

草容鎮慰安所及食堂

